



MS343-12007

リヤディフューザー

取付・取扱説明書

この度はオーリス用TRDリヤディフューザーをお買い上げ頂き、有難うございます。
 本書には上記TRDリヤディフューザーの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
 取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施して下さい。
 なお、本書は必ずお客様にお渡し下さい。

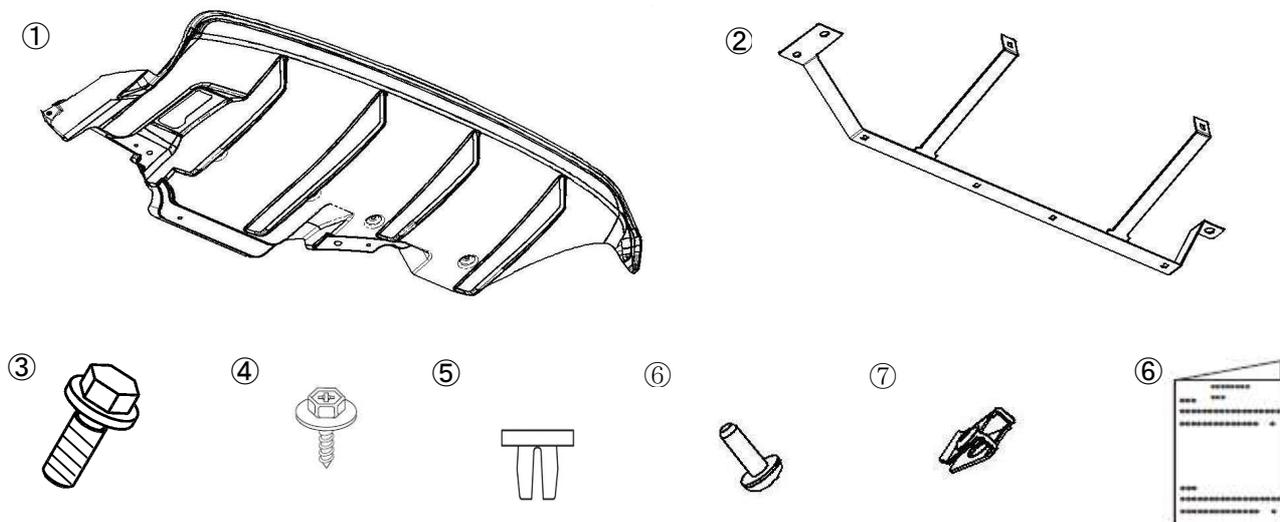
本商品は、車両登録後に取付けを行って下さい。
 登録前に取付けを行った場合、持込みの新規検査が必要となります。

■品番・適合車種

品番	適合	型式	年式	(塗装色・適合グレード)
MS343-12007	オーリス	NZE151 ZRE152	'09.10~	・ガンメタリック(1G3)塗装 ・RS, 2WD150X, 2WD150X "M Package" "S Package"

■構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	リヤディフューザー		1	本体
②	ディフューザーブラケット		1	
③	ワッシャ付六角ボルト	90119-12369	3	②ディフューザーブラケット取付け用 M12×P1.25×L35
④	スクリーボルト	90159-60602	6	①ディフューザー取付け用及びバンパー固定用
⑤	樹脂グロメット	90189-06002	6	②ブラケットの下面穴及びバンパー固定用ステー穴に挿入
⑥	トラスタッピングスクリュー		1	右端末固定用
⑦	Jナット		1	バンパー穴部に使用
⑧	取付・取扱説明書(本書)		1	



■取付・取扱上のご注意

△警告：この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行なうと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。

△注意：この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行なうと、人が傷害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。

※確認・本商品到着後は直ぐに開封し、内容物に破損がない事、本書に記載されている付属品がすべて揃っている事を確認して下さい。本商品は過去に事故歴の無い車輦に確実に取付け出来ます。

△注意 本商品の取付け、交換の際は該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行なって下さい。

△注意 本商品は未登録車両への取付けは出来ません。必ず登録後に取付けを行なって下さい。

△警告 本商品の取付作業・部品交換は必ず専門の整備工場で行なって下さい。

△警告 本商品は適合車種以外には使用しないでください。破損や故障により、重大な事故を招く場合があります。

△警告 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを停止し、パーキングブレーキがかかっていることを確認後、行って下さい。不安定な場所での作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。

△警告 エンジンルーム、マフラーなどの付近で取付作業を行なう際は、必ず各部が冷えていることを十分確認後、作業を開始して下さい。熱い状態で作業を行なうと、ヤケド等の重大な傷害を負う場合があります。

△警告 車両に付いている純正ボルト・ナット等を再使用する部分については、ボルト・ナットが錆びたり劣化したりしている場合、必ず新品に交換して下さい。

△警告 取付けの際は、指定トルクに従って各ボルト・ナット類を十分に締め付けてください。取付時に緩みがあると徐々に緩んできて、脱落などにより重大な事故を招く恐れがあります。

△警告 取付後、本商品と他の部品との干渉を確認して下さい。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となり、重大な事故を招く場合があります。

△警告 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意下さい。

△警告 急発進、急制動、急旋回などの無理な走行、乱暴な運転は本商品に過剰な負担をかけ、損傷、故障の原因となるばかりでなく、重大な事故の発生をも誘発することになりますので、絶対におやめ下さい。

△警告 本商品は基本的に舗装路での走行を想定して設計されています。悪路での走行は十分な安全スピードで走行するようお願いします。

△警告 本商品装着後に、衝突などの強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に、変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用をおやめ下さい。

△警告 走行中に異常を感じたら直ちに安全な場所に停車し、取付部分をよく点検してください。そのまま走行を続けると、重大な事故の原因となる場合があります。

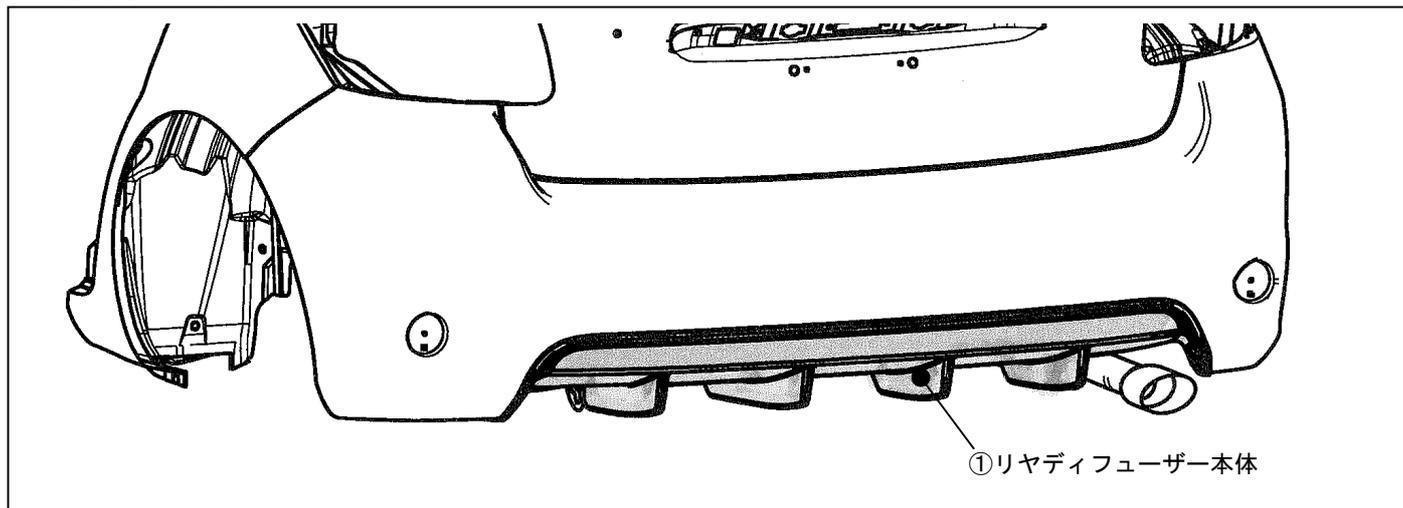
△警告 本商品への改造、加工は絶対に行なわないで下さい。保証が受けられないだけでなく、破損や、重大な事故の原因となる場合があります。

△注意 リヤバンパーカバー復元の際、アンダーカバーとの締結ビスやクリップ類は確実に取付けて下さい。

△注意 取付けには必ず付属の専用ブラケット②を使用して下さい。ブラケットを使用せずに取付けた場合は保証の対象外となります。

△注意 取付作業や、走行にともない、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。上記の事項と本書の装着手順を必ずお守り下さい。

■取付イメージ図



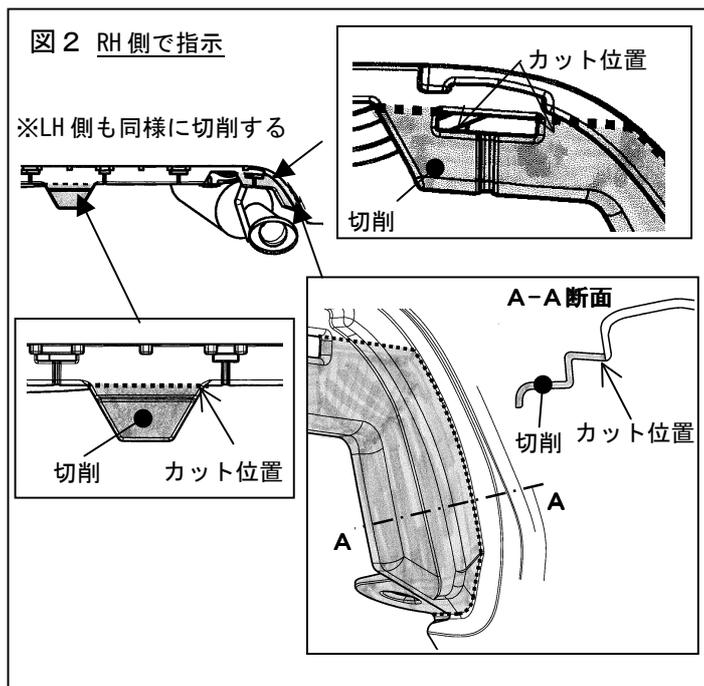
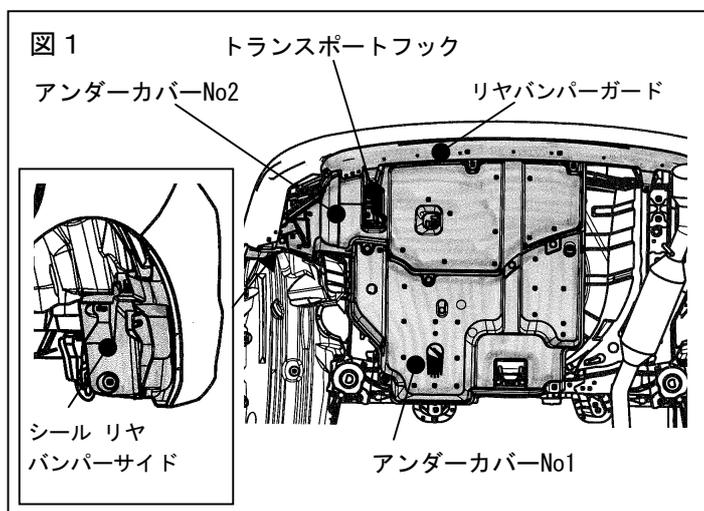
■ディフューザー取付要領

1. 純正部品の取外し

1. 修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、図1に示す純正部品リヤバンパーガード、アンダーカバーNo1、No2、シールリアバンパーサイド、及びトランスポートフックを取外す。

△注意

1. 取外したアンダーカバーNo1、シールリアバンパサイド、クリップ等は復元時に再使用しますので紛失や破損に注意して下さい。



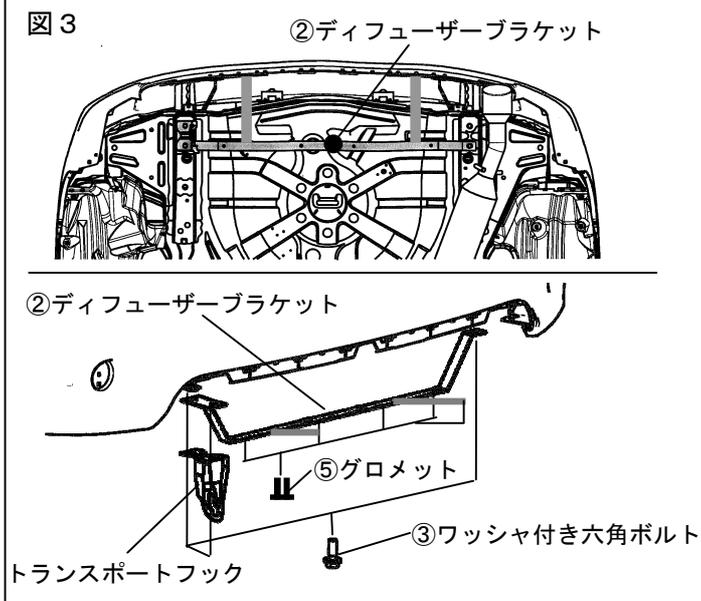
2. リヤバンパーカバーの切取り加工

1. 図2の要領に従いリヤバンパーカバーの指示部分を、エアソー等を使用して切削する。

△注意

バンパー切除作業で両側のコーナー部分を切除する際、バンパーの表面に傷を付れたり、表面側まで切り込みを入れたりしない様に十分注意と確認をして作業して下さい。

図 3



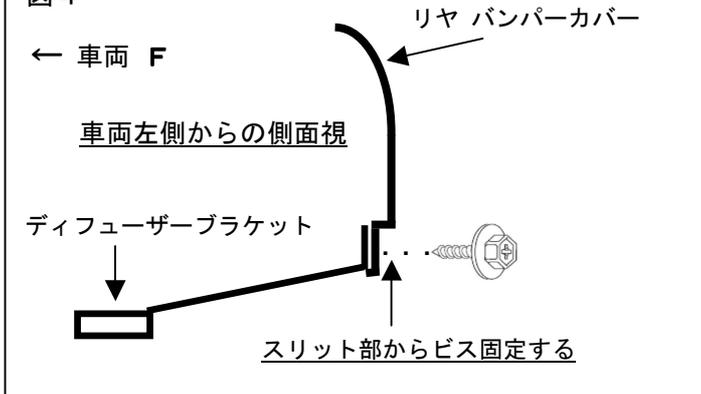
3. ディフューザーブラケットの取付け

1. 図3のように②ディフューザーブラケットの下面穴4カ所と後向ステーの先端穴に⑤樹脂グロメットを挿入する。
2. ブラケットのステー部をバンパー内側に入れ。1-1で外したトランスポートフックを②ディフューザーブラケットと共に構成部品③のボルトで車両へ取付ける。基準トルク 96 Nm

△注意

1. ②ディフューザーブラケットはトランスポートフックと車両の間に入れます。
2. 基準トルクで確実に締付けて下さい。

図 4



3. 図4のようにディフューザーブラケットのステー先端とバンパー下端を、バンパーのスリット部を利用して④スクリーボルトで、しっかり締結する。

4. ディフューザー取付位置確認・穴開・脱脂

1. 構成部品①リヤディフューザーをバンパーカバーに仮当てする。
2. 図5のようにディフューザー下端A・B部を横から見てバンパーカバーとの間に隙間が無い事を確認し、その位置でディフューザーのモール上辺に沿ってバンパーに紙テープを貼付ける。**(取付けが終了するまでテープは剥がしません)**
3. 作業2の隙間が無い事を確認した状態でディフューザー右側の穴位置中心をマーキングする。
4. 仮当てのディフューザーを外し、作業3でマーキングした位置に、5.5mmの穴を開ける。穴のバリを取り、図6のように前側から⑦のJナットを平面側をマフラー側にし取付ける。
5. 両面テープ接着部の紙テープ下側から5mm位の位置を幅10mmで両側端末まで白ガス又はIPAで一方方向に拭くように脱脂する。

△注意

1. 脱脂不足は剥れ、浮きの原因になる為、確実に脱脂して下さい。
2. コーティング処理済み車両は極細コンパウンド等で、軽く研磨して下さい。

図 5

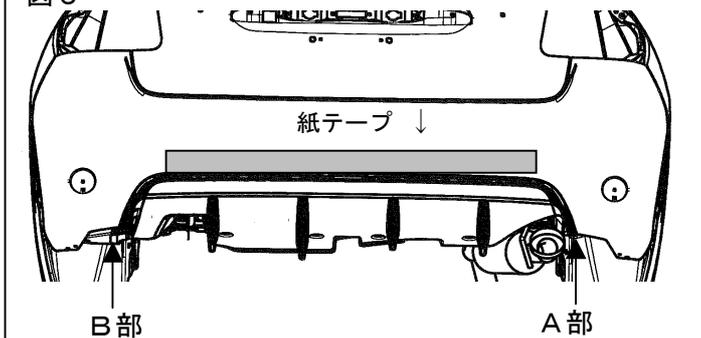


図 6

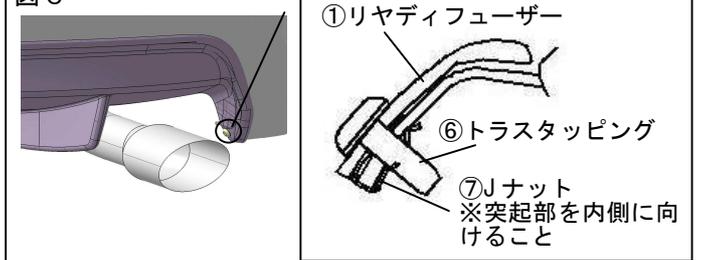
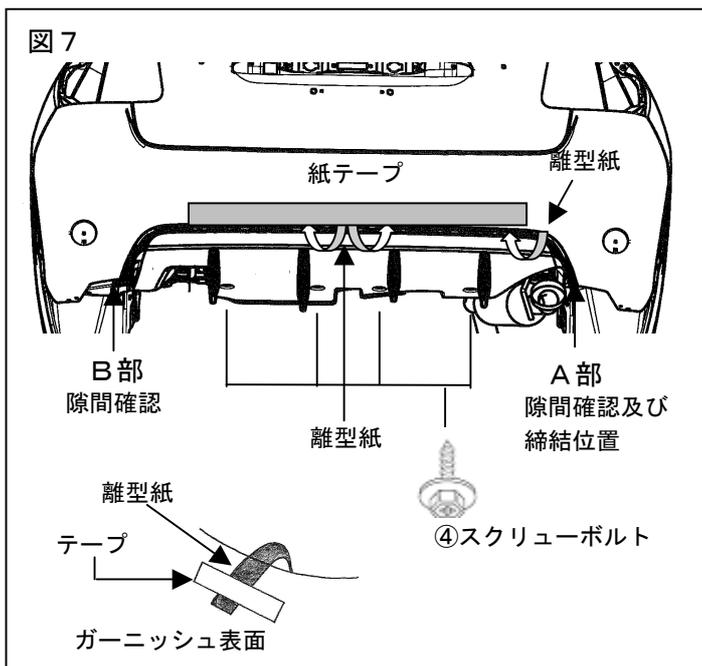


図 7

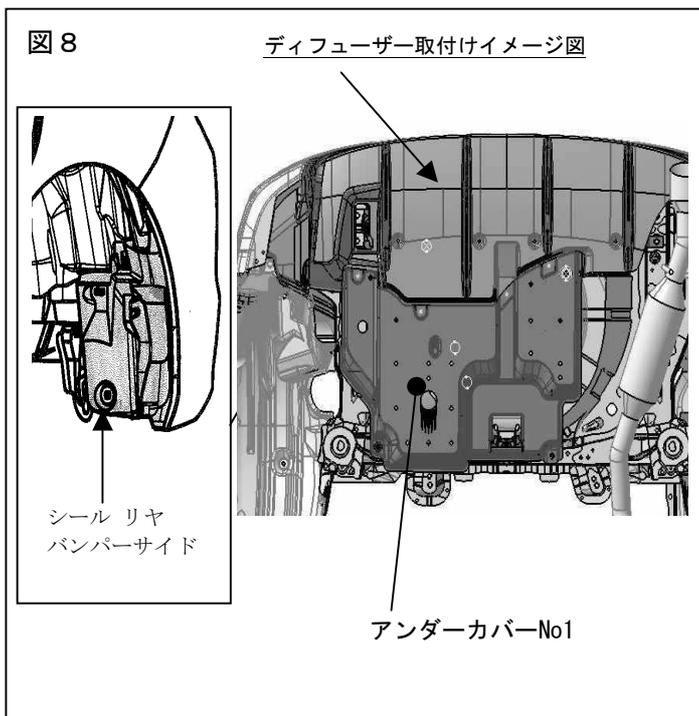


5. ディフューザーの取付

1. 図7のように両面テープ離型紙の中央2ヶ所と右の短い両面テープの上側を25mm位剥がして、ディフューザーの表面に紙テープで留める。
2. ディフューザーを④スクリーボルト4本でディフューザーブラケットにガタが無い程度に仮留めし、4-2で貼付けた紙テープに合わせた位置で、中央の離型紙を抜きながら、左右の順でバンパーに圧着する。
3. 右端も隙間が無い事を確認しながら両面テープ離型紙を抜き、同じように圧着する。
4. 右端のディフューザー穴から⑥のタッピングスクリーを使用し、バンパーと締結する。

図 8

ディフューザー取付けイメージ図



6. 純正部品の復元

1. 図8のように1-1で外した純正部品のアンダーカバーNo1とシールリヤバンパーサイドだけを取付ける。
(注・ディフューザーの型はイメージです)
2. 位置決めて貼付けた紙テープを剥がす。

7. 取付け後の確認

1. 取付け後、3～5Kmの通常走行を行い、装着したディフューザー、復元した純正部品にガタ、遊び、浮き等が無いことを確認する。
2. リヤバンパー周りに汚れ、傷が無いことを確認する。

△注意

両面テープ貼付部に水分が付着しないよう、取付け後24時間は洗車を控えて下さい。